

□サッカーを知ろう !!

【リスペクトミーティング（大切に思う）】

1 サッカーを知り、良いサッカー選手集団（クラブ）を目指そう

みんなが大好きなサッカー。よりサッカーを知り良い選手になるためにはどのようにしたらいいのでしょうか。

また、サッカーのルールは毎年サッカーの魅力さをさらに高めるために進化しています。近代サッカーのルールを知って、よりマナーを守れるクラブを目指しましょう。

2 自分のサッカーへの誠実さ（自由と責任）

自分で判断して自由に行動することが出来るサッカー。とても魅力的です。

だから自分のサッカーのコートをまず考えるのはあたりまえで大切なこと

だけど・・・自分のサッカーだけ良くなればいいの？

自分のサッカーに関わっているすべてのモノへのリスペクト精神を考えてみよう！

3 他人・モノへのサッカーリスペクト（敬意をもって大切に思うこと）

自分のサッカーを表現するためには仲間の存在があってこそ。なぜなら、チームメイトとの連携から生まれるスーパープレー・ファインゴール。・・・失敗をカバーしてくれる仲間の存在。これらはサッカー選手ならば誰もがサッカーのとりこになってしまう所以でしょう。

仲間以外にも・・・

- ① **相手チームも含めサッカー仲間ライバル** 自分のプレーが光るとき。その場面には必ず全力でサッカーをしてくれる仲間、止めに来る相手があります。

仲間・相手がいなければスーパープレーもファインゴールも生まれません。

- ② **審判** 審判の目的は、選手の安全を第一に、ゲームをコントロールする事。ファールを見逃さずに笛を吹いたり、カードを出したりするのはそのためです。審判がいなかったらみんな勝手気ままにルールを破り、サッカーの魅力が半減してしまうでしょう。

- ③ **監督（コーチ）** コーチはキミ達のサッカーを変えるきっかけを与えてくれる存在です。ストップ・ザ・ゲームや、ゲーム中のランダム・コーチングは、キミたちを批判するために行うモノではありません。コーチはキミ達の子カラを引き出すきっかけを気づかせてくれます。素直に受け入れて、トレーニングしてきたことを思い出しましょう。コーチもキミ達をリスペクトしています。安心してください。

- ④ **保護者の方々・家族** キミ達のサッカーの良き理解者であり応援者であることは理解していると思います。まだ大人の子カラでサッカーをさせてもらっているキミ達は、できるだけ自分の足で歩いていくコト「自立（自分で行動して自分で責任をとる）」していくことで感謝の気持ちを行動に変えることがリスペクトのヒントです。

- ⑤ **サッカーグッズ** 道具の少ないサッカー。道具ひとつにも大切にするといったリスペクトが存在します。

- ⑥ **サッカー施設**

今ではサッカーが文化となり、サッカー専用の施設が当たり前のように存在しています。ひと昔、サッカー専用の施設があるのは当たり前のことではありませんでした。施設を管理してくれている方々を大切に思う。施設を大切に綺麗に使う、それがサッカーリスペクトの考え方（精神）です。

4 良い準備のために常に上を観てサッカーをしよう。（謙虚もうできた満足しない）

日々のトレーニングの準備と、リーグ戦や大会の予選、勝負のかかった上位トーナメント、そして決勝など…いつも同じ準備で臨むコトをコーチは徹底して指導していることはみんながよく知ってくれている事だと思います。この試合が大切だから…と急にチカラが出るモノではありません。

また、「練習はウソをつかない。」クラブのトレーニングでできない事は試合ではできません。試合をイメージして取り組みましょう。クラブのトレーニングも自主練習の積み重ねがあってこそ、効果が発揮されます。

いつも同じ「よい準備」と言葉でいうのは簡単ですが、もうできていると満足した時点で成長は止まってしまう。つまり、継続はチカラなり。停滞は退歩なり。満足した時点で成長は止まってしまうモノなのです。

そんな時はいつもコーチが話しているとおり、上を観てください。同じ年代でも自分より素晴らしいサッカー選手がいませんか。日本の全国レベルだけでなく、世界を観てサッカーをして欲しいと感じます。

自分のサッカーが変わっていない、伸びていないと感じたときは上を観てよい準備をしよう！

5 仲間やコーチも含めた他人への伝え方（コミュニケーション）

試合中の攻撃・守備のシーンにおいて、グループ戦術的に味方との連携が必要な場面を思い描いてみて下さい。そこには自分の思い、発想、判断があるとします。一方で、仲間も自分の思い、発想、判断があるとします。

うまく連携できなかったとします。

その時のふるまい、言葉かけ・・・つまりサッカーコミュニケーションのシーンです。

失敗した時の「ドンマイ。きりかえて。」「○○しっかり。」の場面ではなく、自分のイメージとおりのプレーができたにも関わらず、うまく連携できていません。

難しい場面ですね。

そんな時こそ、リスペクトの精神が大切になってきます。

「なんで・・・。」「どうして・・・。」という伝え方では、一方的に自分のイメージを押し通してしまっています。

「あ、そこか。ボクはここに動いて欲しかったんだ。」「もっと、先に伝えて。わかんなかった。」などは、相手をリスペクトした、次の成功につながるコミュニケーションとなります。

仲間、コーチそして自分。みんな目的は同じなのです。

コーチもみんな全員をリスペクトしています。安心してください。そして、みんなで一つ上のサッカーができるよい選手集団（クラブ）を目指して頑張っていきましょう。